

大臣におかれましては、ますますご壮健のこととお喜び申し上げます。

宗教団体のオウム真理教による凶行に関わり死刑が確定した 13 人のうち、7 人に対する死刑が去る 7 月 6 日に執行され、残る 6 人もいつ執行されてもおかしくありません。

私は、オウム真理教やその信者が犯した凶行に怒りを感じます。また関連事件のすべての犠牲者には、心より哀悼の意を表します。

一方、死刑は世界人権宣言が認める生存権を侵害し、残虐・非人道的かつ品位をおとしめる究極の刑罰です。したがって、私は、犯罪の性質や状況、有罪・無罪、個人の特質、執行手段などにかかわらず、すべての死刑に例外なく反対します。

つきましては、事件関係の死刑確定者として残る 6 人の執行をただちに停止し、その死刑判決を減刑してください。また、近い将来の死刑全廃を視野にいれ、すべての確定者の執行を停止し、正しい情報に基づく死刑の、全市民的議論を働きかけてください。

その議論の間に執行が続くとしても、死刑情報を速やかに開示し、死刑確定者やその家族・弁護士・市民に対し、執行の予定を告知してください。

ぜひとも、以上の要請へのご配慮と取り組みをお願いする次第です。

以上